

2023年度「Dr's k-meet」を開催  
～ポスターセッションで博士後期課程学生 28 名が自己アピール～

2023年10月24日（火）および25日（水）、蔵前工業会（東京工業大学同窓会組織）と東京工業大学は「Dr's K-meet（博士後期課程学生のための蔵前就職情報交換の集い）」を開催しました。

このイベントは、博士人材（博士後期課程学生、ポスドク）を対象としたキャリアフェアとしては国内最大級であり、今回は、6回目の開催、4年ぶりの対面開催となりました。当日は、外資系企業を含む71社が参加し、約350名の博士人材が企業との情報交換に臨みました。

このイベントの一環としてTaki Plazaで実施（各日2時間）された「ポスターセッション」は、イノベーション人材養成機構（IIDP）が担当しました。

このポスターセッションは、博士後期課程学生が、現在の研究概要、研究を通じて培ったこと、自身の強み等を企業の人事・研究担当者にアピールし、興味を持つ企業の方々から直接質問やコメントをいただける貴重な機会です。

今回は、様々なコースから、留学生を含む28名の学生が自ら手を挙げて参加しました。

参加学生は、事前に「自己紹介シート」や「自己アピール文」を作成し、これらは参加企業に事前に共有されました。また、事前に、蔵前工業会くらまえアドバイザーやIIDP教員が、発表や自己紹介についてアドバイスする機会を設けました。

博士後期課程学生は、日頃、学会で自身の研究について学術的な発表をしますが、専門外の方が理解できるように研究内容を説明したり、自己アピールを行う機会が多いとは言えません。しかし、どの学生も、アドバイスや練習を経て、わかりやすい資料の作成や発表のコツをつかむことができました。

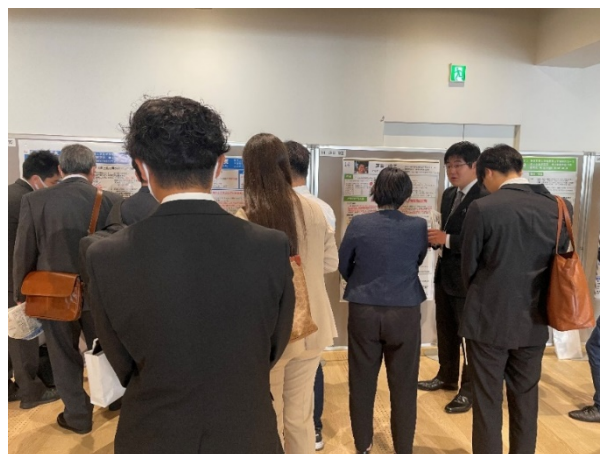
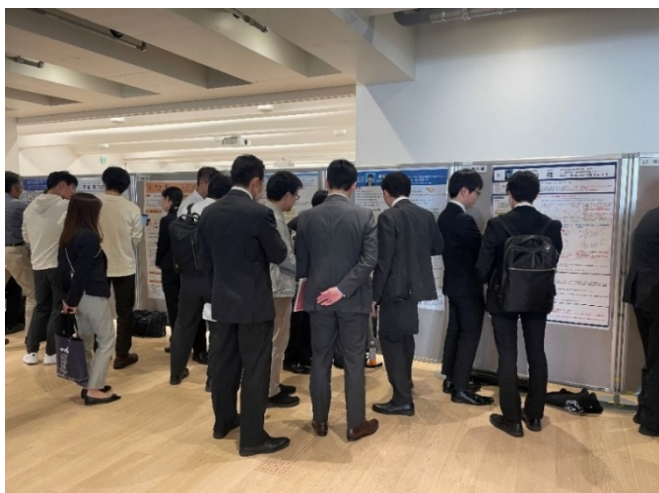
当日は、はじめに、東工大の井村理事・副学長（教育担当）から、このイベントの意義等についての説明があり、参加いただいた企業の皆様へ御礼の挨拶がありました。



続いて、28名の学生が一行に並び、一人1分で自己紹介を行いました。多くの企業の方を前に、やや緊張している学生もいましたが、全員、事前練習の成果を発揮し、「是非自分の発表を聞いてください」とアピールしました。

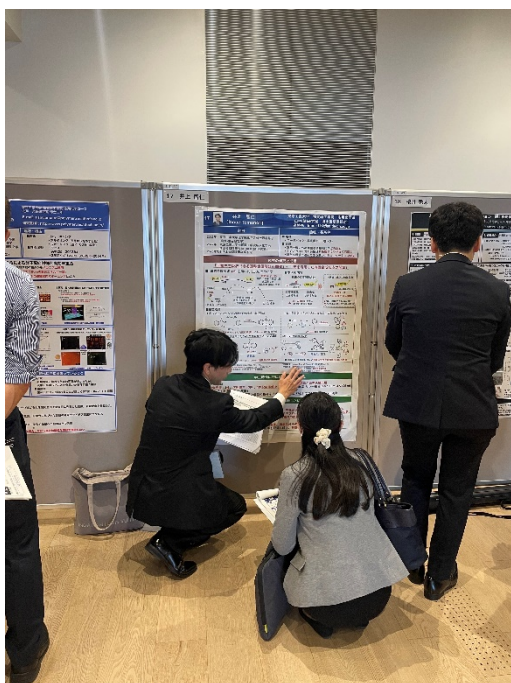


続いて、各学生は自身のポスターの前にスタンバイし、企業の方が学生のポスターを訪問して学生の発表を聞いた後、意見交換を行いました。学生は、このイベントのために作成したポスターの前で、時には実際に実験で使用している道具等も使いながら、熱心に説明や質疑応答を行いました。また、企業の方も、全学生の「自己紹介シート」を手に、学生の説明に熱心に聴き入り、活発に質問も出されました。



2日間合計で、約50社から130人を超える企業の方に参加をいただきました。どの学生のポスターにも人が絶えず、「もっと多くの学生と話をしたかったが、時間が足りなかった」といった感想もありました。

参加した学生からは、「企業の方がどんな視点や興味を持っているかを知ることができた」「同じ業務内容でも、企業によって視点が違う点が意外だった」「自分では関係が薄いと思っていた業界の方からも関心を持ってもらえた」「多くの企業の方と接点を持つことができ、視野が広がり、今後の就職活動に活かすことができる」等の感想があり、大変有意義なイベントになりました。また、企業および学生双方から「やはり対面開催で直接交流できる機会は貴重である」との声が多くありました。



東京工業大学では、今後も、博士人材が自身の目指すキャリアパスを実現できるように、様々な支援の機会を提供していきます。

以上